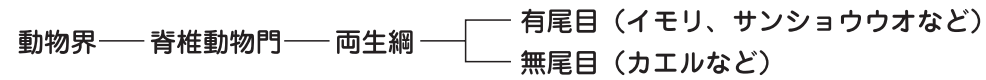


資料3：両生類

1. 分類

■ 両生とは“水中と陸上の両方で生きる”ことを意味します。日本の両生類には有尾目と無尾目があります。分類学的には次のようになります。

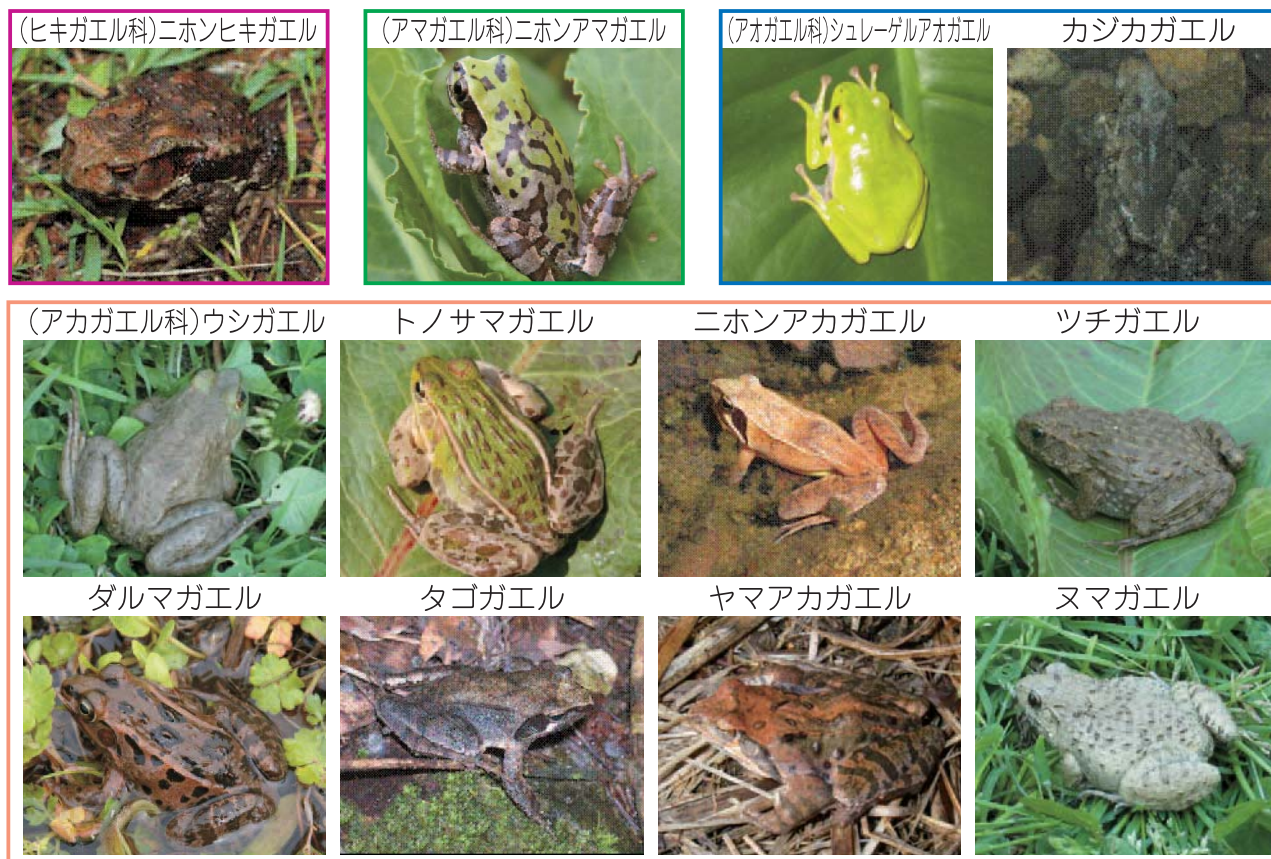


■ 種類数は、有尾目：世界：10科、60属、約400種 日本：3科、6属、22種 広島県：3科、6種、
 無尾目：世界：16科、218属、約2600種 日本：5科、10属、38種 広島県：4科、13種
 世羅台地：4科、12種 (ダルマガエルは保全のために福山市神辺町の個体群を人為的に移殖)

世羅台地に生息するカエルの検索表

体長 (mm)	体色 (背面)	模様・斑紋 (背面)	背側線	吸盤	他の特徴	種名	
大型 (150~180)	赤褐色~黄土色	大きな不定形が帯状 黒・赤・茶色など様々	不明瞭	なし		ニホンヒキガエル	
	灰褐色~淡緑色	地色より濃い大理石 模様or無地	なし	なし		ウシガエル	
中型 (120~50)	茶褐色~黄土色	前肢基部に逆V字形 の濃褐色模様 褐色の小斑点orなし	あり	なし	眼後端から 一直線 鼓膜の背面で 側方に曲がる	ニホンアカガエル ヤマアカガエル	
	緑~オリーブ色 茶褐色	黒~茶褐色の斑紋 大きさは様々	連続する傾向 あり	なし	背中線あり	タゴガエル トノサマガエル	
	灰褐色~淡灰色	地色より濃い小斑紋 が多数	独立した斑紋	あり	なし	背中線なし	ダルマガエル
	灰褐色~青灰色	不鮮明な模様		なし	なし	腹面に黒色 小斑点あり 腹面は白色	ツチガエル ヌマガエル
	小型 (~60)	黄緑色~濃緑色	なし	なし	あり	眼鼻線なし	シュレーゲルアオガエル
			不定形のものがある or 無い	なし	あり	黒色の眼鼻線	ニホンアマガエル

世羅台地に生息するカエルの種類 (4科12種)



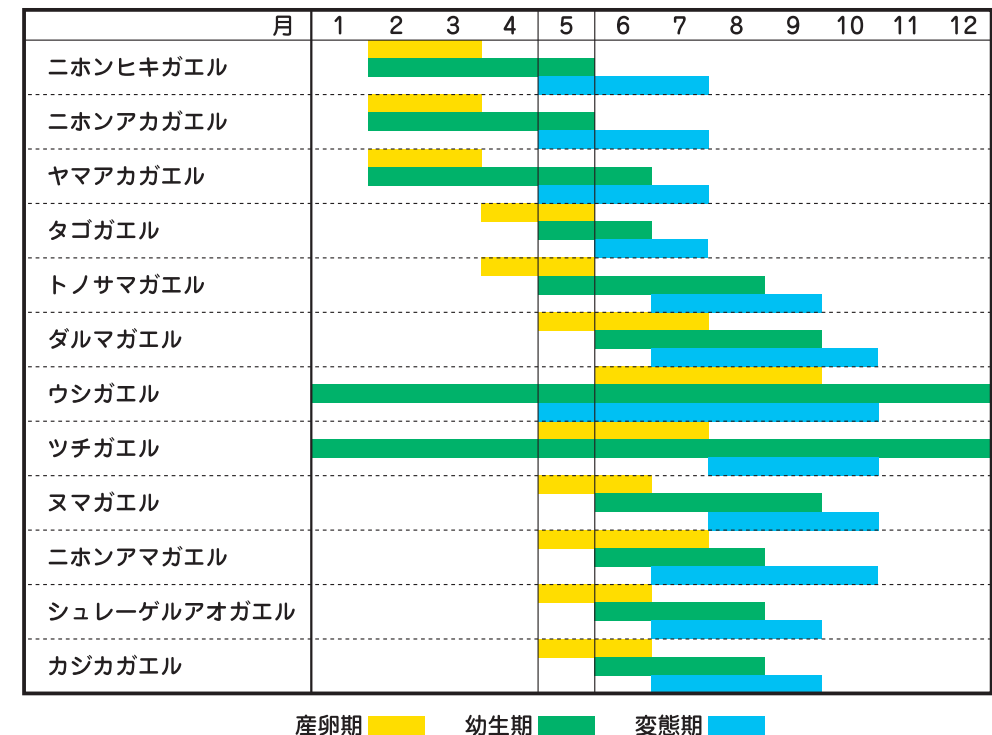
2. 生活史

カエルの生活史 (一生) は次のように循環し、種が維持されています。



せら夢公園自然観察園では、非常に多様な両生類が生息し、春先~晩秋までの長期間にわたって、カエルの生活史のさまざまな段階を観察できます (下図参照)。

世羅台地に生息するカエルの産卵・幼生・変態期



■産卵 (卵)

- 卵塊の形態や産卵数は種によって異なります。一般的に大型のカエルほど産卵数は多いです。
- すべての種で卵は球形。卵の色は産卵時期や種によって異なります。
 - ▶ ゼリーに包まれ、動物極側が黒褐色で植物極側は白色；受精卵は回転して動物極側が上を向く。
ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、ヤマアカガエルなど
 - ▶ ゼリーに包まれて動物極が茶褐色~黄土色で植物極側は白色。
ニホンアマガエル、ツチガエル、ヌマガエル、トノサマガエル、ダルマガエルなど
 - ▶ 泡状塊の中で卵全体が黄色。
シュレーゲルアオガエル

